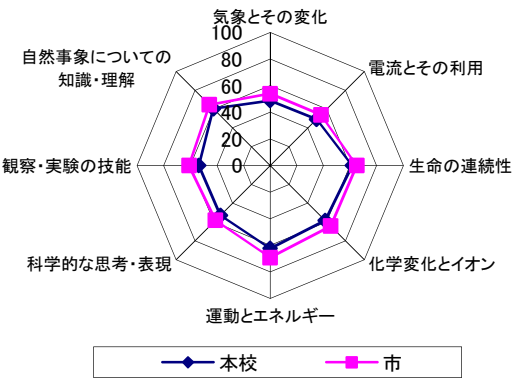


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	気象とその変化	48.9	54.0
	電流とその利用	49.2	53.8
	生命の連続性	61.7	65.0
	化学変化とイオン	58.4	64.2
	運動とエネルギー	62.3	69.2
観点別	科学的な思考・表現	52.9	58.2
	観察・実験の技能	53.7	61.1
	自然事象についての知識・理解	60.4	64.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
気象とその変化	本校の正答率は、市の平均を5. 1ポイント下回っている。知識・理解を問う問題よりも、思考する力を問う問題の方が、市平均との差が大きい。	2年生で学習する内容である。日常生活で感じる天気の変化と関連付けながら、知識の定着を図っていく。また、他の領域も含めて、言語を使って自分の考えを表現する活動について、常日頃から実践を通して充実を図っていく。
電流とその利用	本校の正答率は、市の平均を4. 6下回っている。知識・理解を問う問題よりも、思考する力を問う問題の方が、市平均との差が大きい。文章で答える問題では、無解答の割合が市平均を上回っている。	2年生で学習する内容である。公式を利用して未知の数値を導き出すことについて、演習を繰り返して定着を図っていく。
生命の連続性	本校の正答率は、市の平均を3. 3ポイント下回っている。受精や遺伝子の理解については、市の平均をやや上回っている。知識・理解を問う問題よりも、思考する力を問う問題の方が、市平均を下回る値が大きい。	カードやプリント等を活用し、遺伝子の組み合わせを視覚イメージをもちながら筋道を立てて考えるよう指導していく。
化学変化とイオン	本校の正答率は、市の平均を5. 8ポイント下回っている。電流が流れる水溶液を指摘する問題は、市平均をやや上回っている。語句を書く問題では、無解答の割合が市平均を上回っている。	カードや視聴覚教材を活用し、目に見えない粒子について視覚イメージをもてるように指導していく。
運動とエネルギー	本校の正答率は、市の平均を6. 9ポイント下回っている。2つの力を合成し図で示す問題では、無解答の割合が市平均を上回っている。	力を感じる体験をもとに、力を数値や矢印での表現をすること指導していく。